

製品価格表

ユーザーID	サブスクリプションライセンス、標準サポート一体型(年間)		(ご参考)
	型番	価格	1ID/月額換算の目安
20	PLES-20	91,000	379
50	PLES-50	202,000	337
100	PLES-100	368,000	307
150	PLES-150	520,000	289
200	PLES-200	662,000	276
250	PLES-250	797,000	266
300	PLES-300	928,000	258
350	PLES-350	1,054,000	251
400	PLES-400	1,178,000	245
450	PLES-450	1,295,000	240
500	PLES-500	1,411,000	235
600	PLES-600	1,635,000	227
700	PLES-700	1,850,000	220
800	PLES-800	2,057,000	214
900	PLES-900	2,259,000	209
1000	PLES-1000	2,453,000	204
1100	PLES-1100	2,642,000	200
1200	PLES-1200	2,827,000	196
1300	PLES-1300	3,010,000	193
1400	PLES-1400	3,184,000	190
1500	PLES-1500	3,358,000	187
1500～	お問い合わせください。		

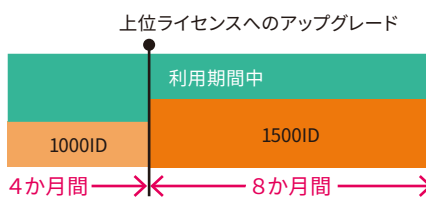
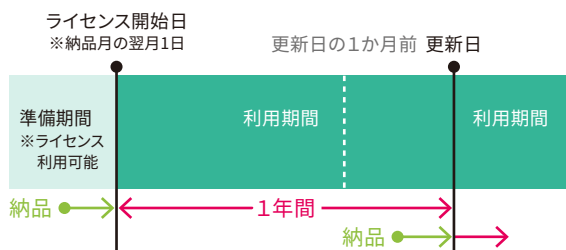
サブスクリプションライセンス価格表について

- サポート一体型のサブスクリプションライセンスです。次年度以降、継続してご利用いただくにはライセンスのご購入(更新)が必要です。
- 価格表の「ユーザーID」が登録可能なID数の上限値です。PassLogic 認証サーバーに登録するユーザーID数に応じてライセンスをご選択ください(同時接続数ではありません)。
- ライセンスを追加する場合は、追加前のID数と、追加後のID数の差額でソフトウェアをアップグレードできます(月割り清算となります)。
- 差額でアップグレードできるライセンス体系なので、どのタイミングで追加してもボリュームディスカウントが適用されます。
- ライセンスの有効開始日は、納入月の翌月1日が起算日となります。ライセンス(ID)追加時も同様の考え方となります。
- 本ライセンスに、サーバーOSやサーバーハードウェアの費用は含まれません。
- 製品販売終了(EoS)から5年間、バグ修正を含むアップデート、対応策、またはパッチを提供します。
- 本ライセンスは、ライセンス受ける個社向けのライセンスです。レンタルやリース、サービスとしての提供はできません。これらの提供形態を希望される場合はパスロジまでお問い合わせください。
- 各社の提供するクラウドプラットフォーム上での運用が可能です。
- AWS、Microsoft Azure 上ではソフトウェアイメージを提供しており、BYOL形式でご利用いただけます。
<https://www.passlogy.com/cloud>

ライセンス開始日(起算日について)

ライセンスのアップグレードの考え方

例) 1000IDで4か月間利用し、5か月目から1500IDへアップグレードする場合



アップグレード	
型番	価格
PLES-1000	2,453,000
PLES-1500	3,358,000
差額	905,000
月割り	603,333

オプションライセンスについて

オプションライセンス名称	価格
冗長化ライセンス	無償
ディザスタリカバリライセンス	無償
「PassClip L」の利用	無償
クライアント証明書機能	無償
Windowsログイン	無償
PassLogic API	480,000円(年間)

冗長化構成について

同一拠点内における冗長化構成は無償となります。

ディザスタリカバリ(DR)構成について

サポート一体型サブスクリプションモデルにはDRライセンスが含まれています。

PassClipの利用

スマートフォンアプリ形式のソフトウェアトークンです。

PassLogic APIの利用

REST型APIの利用に必要です。API仕様書ならびにその保守サポートをご提供します。

※価格表記は全て円(税別)です。

※本価格表は PassLogic エンタープライズエディション用です。

※月額換算費用は、ライセンスの上限 ID 数で利用した場合の費用です。

※本価格表に記載の内容は、発表当時の情報です。予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。

※記載されている商品・サービス名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

※月額換算費用は、4年間利用することを想定した場合で算出しています。

開発・販売

パスロジ株式会社

東京都千代田区神田小川町 3-26-8

TEL : 03-5283-2263 E-MAIL : sales@passlogy.com

URL : <https://www.passlogy.com/>

お問合せ

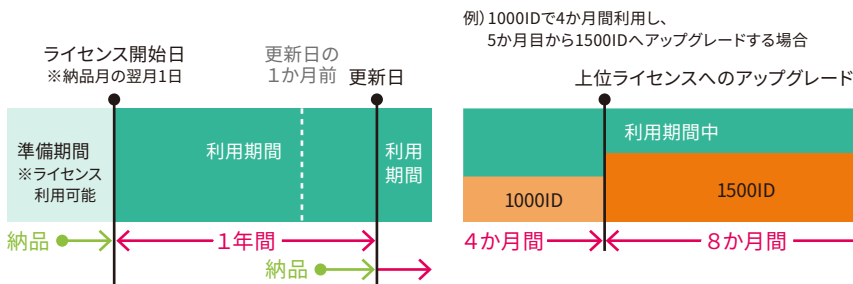
製品価格表

ユーザー ID	ソフトウェア		年間保守サポート		(ご参考)
	型番	価格	型番	価格	1ID/月額換算の目安
20	PLE-20	177,600	PLE-20M	35,520	333
50	PLE-50	396,000	PLE-50M	79,200	297
100	PLE-100	720,000	PLE-100M	144,000	270
150	PLE-150	1,017,000	PLE-150M	203,400	254
200	PLE-200	1,296,000	PLE-200M	259,200	243
250	PLE-250	1,560,000	PLE-250M	312,000	234
300	PLE-300	1,815,000	PLE-300M	363,000	227
350	PLE-350	2,061,500	PLE-350M	412,300	221
400	PLE-400	2,304,000	PLE-400M	460,800	216
450	PLE-450	2,533,500	PLE-450M	506,700	211
500	PLE-500	2,760,000	PLE-500M	552,000	207
600	PLE-600	3,198,000	PLE-600M	639,600	200
700	PLE-700	3,619,000	PLE-700M	723,800	194
800	PLE-800	4,024,000	PLE-800M	804,800	189
900	PLE-900	4,419,000	PLE-900M	883,800	184
1000	PLE-1000	4,800,000	PLE-1000M	960,000	180
1100	PLE-1100	5,170,000	PLE-1100M	1,034,000	176
1200	PLE-1200	5,532,000	PLE-1200M	1,106,400	173
1300	PLE-1300	5,889,000	PLE-1300M	1,177,800	170
1400	PLE-1400	6,230,000	PLE-1400M	1,246,000	167
1500	PLE-1500	6,570,000	PLE-1500M	1,314,000	164
1500~	お問い合わせください。				

ソフトウェア&サポート購入型価格表について

- 初年度は、ソフトウェアと年間保守サポートのご購入が必要です。次年度以降、継続してご利用いただくには年間保守サポートのご購入が必要です。
- 価格表の「ユーザー ID」が、登録可能な ID 数の上限値です。PassLogic 認証サーバーに登録するユーザー ID 数に応じて、ライセンスをご選択ください (同時接続数ではありません)。
- ライセンスを追加する場合は、追加前の ID 数と、追加後の ID 数の差額で、ソフトウェアをアップグレードできます (年間保守サポートについては、差額費用から残り利用月数に応じて月割りで算出いたします)。
- 差額でアップグレードできるライセンス体系のため、どのタイミングで追加してもボリュームディスカウントが適用されます。
- ライセンスの有効開始日は、納入月の翌月 1 日が起算日となります。ライセンス (ID) 追加時も、同様の考え方となります。
- ソフトウェア費用に、サーバー OS やサーバーハードウェアの費用は含まれません。
- 製品販売終了 (EoS) から 5 年間、バグ修正を含むアップデート、対応策、またはパッチを提供いたします。
- スタンダード版をご利用のお客様には、優待移行パスを用意しています。
※サブスクリプション版への移行は対象外です。
 - ・エンタープライズ版のソフトウェア費用を 80%OFF します。
 - ・スタンダード版の保守期間中にエンタープライズ版のソフトウェアをご購入いただくと、スタンダード版とエンタープライズ版の並行稼働が可能です。最大 12 か月間を、エンタープライズ版の構築やユーザー移行の期間に充てることができます。
- 本ライセンスは、ライセンス受ける個社向けのライセンスです。レンタルやリース、サービスとしての提供はできません。これらの提供形態を希望される場合はパスロジまでお問い合わせください。

ライセンス開始日 (起算日について) — ライセンスのアップグレードの考え方



ソフトウェア費用のアップグレード		年間保守サポート費用のアップグレード	
型番	価格	型番	価格
PLE-1000	4,800,000	PLE-1000M	960,000
PLE-1500	6,570,000	PLE-1500M	1,314,000
差額	1,770,000	差額	354,000
月割り(なし)	1,770,000	月割り(8か月分)	236,000

オプションライセンスについて

オプションライセンス名称	価格
冗長化ライセンス	無償
ディザスタリカバリライセンス	ソフトウェアに対して75%OFF
「PassClip L」の利用	無償
クライアント証明書機能	無償
Windowsログイン	無償
PassLogic API	480,000円(年間)

冗長化構成について	同一拠点内における冗長化構成は無償となります。
ディザスタリカバリ (DR) 構成について	異なる拠点にサーバーを設置する場合は、ソフトウェア標準価格の 25% の費用が別途必要です。なお、保守費用はかかりません。
PassClip の利用	スマートフォンアプリ形式のソフトウェアトークンです。
PassLogic API の利用	REST 型 API の利用に必要です。API 仕様書ならびにその保守サポートをご提供します。

※価格表記は全て円(税別)です。
 ※本価格表は PassLogic エンタープライズエディション用です。
 ※月額換算費用は、ライセンスの上限 ID 数で利用した場合の費用です。

※本価格表に記載の内容は、発表当時の情報です。予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。
 ※記載されている商品・サービス名、会社名は、各社の商標または登録商標です。
 ※月額換算費用は、4 年間利用することを想定した場合で算出しています。

製品価格表

キーホルダータイプ (OTP-C200)

商品イメージ	販売個数	価格					納期
		1年保証	2年保証	3年保証	4年保証	5年保証	
 H3 H27	1~499	¥2,200	¥2,500	¥2,800	¥3,200	¥3,600	15営業日
	500~999	¥2,100	¥2,400	¥2,700	¥3,100	¥3,500	25営業日
	1000~4999	¥1,900	¥2,200	¥2,500	¥2,900	¥3,300	35営業日
	5000~9999	¥1,700	¥2,000	¥2,300	¥2,700	¥3,100	45営業日
	10000以上	お問い合わせください					

※ 商品イメージに掲載の2種類を用意しております。ご注文時にいずれかをご選択いただけます。

カードタイプ (VC-200E)

商品イメージ	販売個数	価格					納期
		1年保証	2年保証	3年保証	4年保証	5年保証	
	1~499	¥3,000	¥3,300	¥3,600	¥4,000	¥4,400	15営業日
	500~1999	¥2,800	¥3,100	¥3,400	¥3,800	¥4,200	25営業日
	2000~4999	¥2,700	¥3,000	¥3,300	¥3,700	¥4,100	35営業日
	5000~9999	¥2,500	¥2,800	¥3,100	¥3,500	¥3,900	45営業日
	10000以上	お問い合わせください					

ハードウェアトークンの価格表について

- PassLogic エンタープライズ版が別途必要です。
- パスロジが販売する OTP トークンは飛天ジャパン社の製品です。
- OTP トークンのサポートは、ベンダーである飛天ジャパン社の直接保守となります。詳細は別紙「ハードウェア製品の保証規定について」をご参照ください。
- OTP トークンのハードウェア保証期間は出荷日よりご購入された保証年数（1年～5年）です。保証期間内中に、OTP トークンが故障した場合はセントバック交換で対応致します。（飛天ジャパン社への返送料はお客様御負担となります。）
- 製品仕様・外観などは、改良のため、予告なく変更される場合がございます。
- OTP トークンのデザインカスタマイズについてはお問い合わせください。
- 取引条件、価格は予告なく変更する場合があります。

※価格表記は全て円（税別）です。

※記載されている商品・サービス名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

販売

パスロジ株式会社

東京都千代田区神田小川町 3-26-8

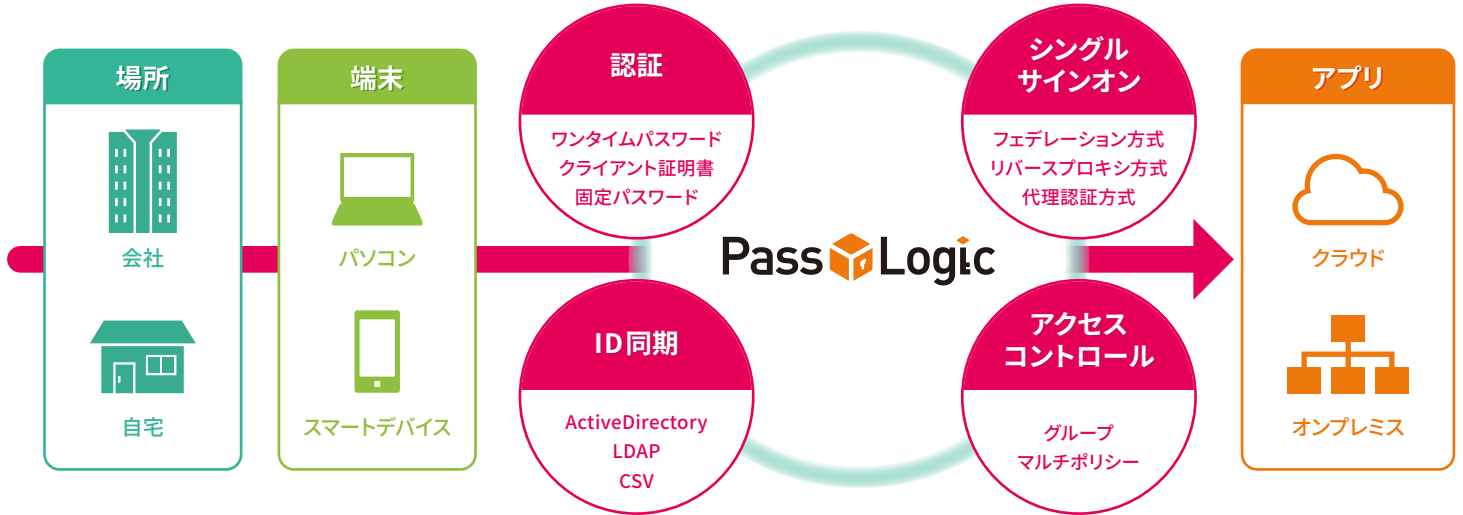
TEL : 03-5283-2263 E-MAIL : sales@passlogy.com

URL : <https://www.passlogy.com/>

お問合せ

“セキュリティ”と“業務・管理の効率UP”を ワンストップで実現！

「PassLogic」は、トークンレス・ワンタイムパスワードによる「**認証**」、クラウドとオンプレミスの両方に対応する「**シングルサインオン**」、「ActiveDirectory」や「LDAP」などとの「**ID同期**」、業務内容や役職などによりアクセス可能なシステムを振り分ける「**アクセスコントロール**」の機能を、ワンストップで提供する認証システムです。



製品の主な特徴一覧

認証機能	パソロジック認証(トークンレスOTP)	○	システム構成	認証サーバー/ゲートウェイサーバー分離	○
	ソフトウェアトークン(時間同期型OTP)	○		冗長化構成	○
	ハードウェアトークン	○		災害対策構成	○
追加セキュリティ	LDAP/ActiveDirectory認証連携(2段階認証)	○	組み込み	REST型API	○
	クライアント証明書(PKI)	○	データベース暗号化技術	AESなど電子政府推奨暗号(CRYPTREC)の採用	○
	Cookieによるブラウザ制限	○	対応言語	日本語	○
	スタティックパスワードの付加	○		英語	○
シングルサインオン	IPアドレス制限	○	多言語対応(対応言語の追加が可能)	○	
	フェデレーション方式(SAML 2.0)	○	脆弱性試験の実施	セキュリティ対策を考慮したコーディング	○
	リバースプロキシ方式	○		第三者による脆弱性試験サービスを製品リリース毎に実施	○
	代理認証方式(POST) / RADIUS	○	取得/継続している特許	パソロジック方式は、パソロジ社のオリジナル技術ですので、当社の製品は日本国内だけでなく、海外からの利用・海外での利用等、ワールドワイドのシステムでも安心してご利用いただけます。 【23件】日本 【10件】米国 【4件】中国 【3件】イギリス、韓国、オーストラリア、スペイン、ドイツ、フランス 【2件】カナダ 【1件】オランダ、シンガポール、スイス、リヒテンシュタイン、フィンランド、メキシコ、アイルランド、イタリア、オーストリア、スウェーデン、デンマーク、トルコ、ベルギー、モナコ、ルクセンブルク 【合計71件】	○
	代理認証方式(カスタムURLスキーム) / RADIUS	○			
接続アプリ数	無制限				
アクセスコントロール/マルチポリシー	所属グループによるアクセスコントロール	○			
	認証方式、パスワード桁数、アクセス許可時間帯の設定	○			
管理者権限	admin(フル権限)、useradmin(ユーザー管理のフル権限)、operator(日々のサポート業務のみ)	○			
	Windowsログイン	○			
Windowsログイン	オフライン対応	○			

PassLogicエンタープライズ版 製品サポートについて

保守サポートサービスの内容

①ソフトウェアサポート内容

電話、eメールによる本ソフトウェアに関するお問い合わせに対する回答など、PassLogicのご利用をサポートさせていただくサービスです。サービス内容、サービスの提供日及び対応時間は、ライセンス購入証書の「サービス内容」欄に記載のとおりとします。また、お問い合わせの宛先は、ライセンス購入証書の「お問い合わせ窓口」欄に記載のとおりとします。なお、保守サポートサービスには、パソロジによる PassLogic に対するオンサイトでの修正及び変更サービスは含まれないものとします。

②ソフトウェアアップグレードサービス

PassLogic に関してパソロジが任意に行ったメジャーバージョンアップ、マイナーバージョンアップのためのアップデートファイルをお客様に対して直接、あるいは販売パートナーを通じて、所定の方法で提供させていただきます。動作対象のサーバー OS について、PassLogic が動作するサーバー OS は、Red Hat Enterprise Linux(以降 RHEL) 6.1 以降、RHEL 7.1 以降となります。

対象バージョン	EoS	EoL
PassLogic エンタープライズ版 v3系	v4.0の提供開始から半年後	EoSから5年後
PassLogic エンタープライズ版 v2系	2017/11/18	2022/11/18
PassLogic エンタープライズ版 v1系	2015/10/15	2020/10/15

EoS(*)は販売終了日の6か月以上前に公開情報として提供されます。

EoS : End of Sales (販売終了)
EoL : End of Life (サポート終了)

■ソフトウェアに対するサポートは次の原則に基づいて提供されます
EoSより5年間、バグ修正を含むマイナーアップデート、対応策、またはパッチを提供します。報告された問題を修正するには、原則ソフトウェア・アップデートが必要となります。